



地域だより 「とんど」は年神様を見送る火祭り



新年恒例の「とんど」が1月14日(日)、園井・馬飼地区において行われました。近年は高齢化等により 人材・人員不足となっており実施が困難となってきました。そんななか、園井地区においては1月13日(土)に準備し、14日(日)に昔ながらの「とんど」が盛大に行われました。

今立地区自主防災会は、2月3日(土)～4日(日)にかけて「防災マップ作成ワークショップ」を行いました。この防災マップは、各ご家庭に配布され、それぞれのご家庭でのオリジナル「防災マップ」として活用されます。



にこにこ農園(園井地区)で育ったコキア ホウキとクリスマスツリーに変身したよ。

答

Q1: ③笛/最悪のケース、自分が生き埋めになり脱出できない場合、所在を知らせるため最も重要となります。阪神淡路大震災では、3万5千人の方が生き埋めとなり自分で脱出できない状況に陥ったといわれています。



あなたの声を聞かせてください！

あんなことできたら いいね! こんなことできたら いいね!
地域の課題は

* ご意見を今井地区まちづくり協議会の事務所郵便受けに入れてください。



第29号

今井地区まちづくり協議会
広報部会制作
令和6年3月20日

今井地区まちづくり協議会の目的

- 地域に居住する人の生きがいづくり
- 地域住民のコミュニティの場づくり
- 地域の課題の解決
- その他本会の目的に必要な事項

(今井地区まちづくり協議会 規約より抜粋)



(今井地区まちづくり協議会イメージイラスト)

今井スマホスクール開校！



2022年11月のアンケートで皆様のお声をいただきました。これを元に、旧今井小学校を拠点にした「新しい今井づくり」を始動しました。

このスクールは、笠岡高等学校・笠岡商業高等学校・笠岡工業高等学校のみなさんと地域がコラボして、スマホの活用方法を学ぶことで、私たちが、より楽しく・より住みやすい生活することを目的としています。

3月7日(木)の第1回目は50名以上が参加され、“笑顔と期待感”であっという間に1時間30分が終了しました。このスクールは毎月1回学びの場を設けます。お楽しみに！詳しくは、今井地区まちづくり協議会事務所にお尋ねください。



4月1日スタート「相続登記の義務化」

新制度をよく知ろうと3月3日(日)、一般社団法人晴ればれ岡山サポートテラスの先生方をお招きして「相続・遺言・成年後見精度などについて学ぼう」の講座を開催しました。参加者23名。講義後には活発な質問・相談事等で有意義な時間でした。このような講座をこれからも企画しなければと感じました。



1月14日（日） 旧今井小学校前の“にこにこ農園”に菜の花 100 本・
チューリップ球根 500 個・レンゲなど参加者 14 名で植栽。
3月3日（日）には菜の花とレンゲの間にネモフィラを植栽。



まちづくり計画策定協議の場から生れましたよ!(^^)!

1月16日（火） 旧今井小学校

生活支援サポーター養成講座を受講しました！



受講者17名！

支え合いの輪 ひろがっています

生活支援サポーター

ごみ出しや掃除、買い物や病院への付添など、
生活の中でちょっと困っていることをお手伝い
する有償ボランティアです。



お問い合わせは笠岡市社会福祉協議会まで ☎ 0865-62-3507

今井地区まちづくり協議会長期ビジョンと部会テーマ 長期ビジョン

テーマ① いつまでも住み続けたいと思うまち →

テーマ② 郷土に誇りが持てるまち →



長期ビジョンに向け、地域の特色、個性を大切にしながら、地域住民の創意工夫と責任のもと、様々な活動を行うことにより、地域力を高め住みよい今井地区の活性化を図る。



1月24日（土）今井うまいや「豚汁定食の日」今井イノコミプロジェクトが捕獲したイノシシの“焼きぼたん”の試食を行ないました。

パパイヤにつけた“焼きぼたん”は柔らかくておいしかったと好評。

ジビエの普及に来ていた シンガーソングライターの千里さんも微笑みを浮かべていました!!



防災クイズ



◎1 ①～③は全て地震の時に必要なものですが、大きな地震が起きた直後に命を守るために最も重要な物は何ですか？

① 水

② 懐中電灯

③ 笛

“答はどこかのページにあるよ”

今井地区まちづくり協議会の活動内容を発信しています。



《今井地区まちづくり協議会》

事務所 笠岡市今立2399番地

開所日 毎週金曜日

13:00～16:00